

SDGs 達成に向けた取組み

愛ロード・愛リバーを通して環境保護活動と文化交流



目的・背景

地域を綺麗にすることで、地域に住んでいる方や道を通る方が住みやすく通りやすい環境づくりをしています。清掃を通して新しく入った社員や技能実習生とのコミュニケーションを図り、自分たちが住んでいる地域を綺麗にするという意識を高め、普段の生活や自国に帰ったあとも環境保護活動を継続してもらうことで、全世界的な SDGs につながると考えて取り組んでいます。

具体的な取組内容

愛ロードは年に 3 回実施を継続しており、1 回目は「道路ふれあい月間」中の令和 5 年 8 月 19 日、2 回目は 11 月 18 日、3 回目は令和 6 年の 4 月 13 日に実施予定となっております。草引きやゴミ拾い、水路の清掃などを中心に行っております。愛リバーは年に 2 回実施を継続しており、1 回目は令和 5 年 7 月 8 日、2 回目は 9 月 9 日に実施しました。地域等での道の清掃に比べて川の清掃が行われていないのか、毎年多くのゴミを拾っています。

その他に、社員寮でのゴミの取扱を徹底し、会社でのゴミ及び現場でのゴミは産業廃棄物として処理して、年に 1 回の市町村への報告を行っております。

成果

生活の中で避けて通ることのできないゴミとの向き合い方や適切な廃棄方法などを、知っている知識に加え、知らなかった知識の確認を改めて行い、それを若い世代や外国人技能実習生に伝えていくことで、教える側も教えられる側も「当たり前」を習慣づけることができたと感じます。

担当者の思い

「継続は力なり」の言葉を胸に、今取り組んでいることを引き続き行っていくことを基盤として、また新たな取組みをプラスしていけたらと思っております。〈総務部 水木〉

